

中国陸軍ニュース：中国がカタール国に地対地ミサイルを輸出

漢和防務評論 20180306(抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

中国は、“一帯一路”戦略の一環として、中東湾岸諸国に短距離地対地ミサイルを集中的に売り込んでいます。
今日の記事は、BP-12 型地対地ミサイルをカタール国が購入したニュースです。
漢和は、中国との約束で、武器の輸出入については当事国の承認がなければ公表しないことにしているため、今回の記事は、強いて”断り書き”を付けた記事になったようです。

漢和註：このニュースは 1 年前に知ったが、記事にはせず、本誌編集部内だけに止めた。現在すでに、カタール国が BP-12 型地対地ミサイルの輸入を正式に公表したので、本誌は今回このニュースを公表することにした。第三国（カタール国以外）の中国ミサイル購入に関するニュースは削除してある。この第三国が写真などを発表すれば、別途ニュースとして公表することにする。

KDR ドーハ特電：中東の権威筋は **KDR** に次のように述べた：カタールは、エジプトやサウジと同様に、中国の”一帯一路”戦略の重点目標である。カタールは各種形式の中国製ミサイルを導入し始めた。その中に精密機器輸出入会社が生産する BP-12 シリーズ弾道ミサイルが含まれる。同ミサイルは、射程 80 乃至 280KM、弾頭重量 480KG である。BP-12 は、ミッドコースが GPS 誘導で、CEP は 50M である。BP-12 には 5 種類の弾頭がある。

その他の輸出型短距離地対地ミサイルとの最大の相違点は、BP-12A が垂直発射方式であることだ。したがって発射準備時間が 12 分しかかからず、撤収時間も 3 分間、連続発射時間は 12 秒である。しかも弾道は簡単な拋物線ではなく、2 回ピークを描く機動弾道 (MANEUVER ORBIT) である。飛行姿勢は燃焼ガスと空気で制御される。このほか、BP-12A のランチャーは SY-400 型誘導ロケットと共用できる。発射車 1 台に、2 発の BP-12A ミサイルと 4 発の射程 200KM の SY-400 誘導ロケットを同時に装着することができる。後者の命中精度 (CEP) は、INS 誘導の場合 160M で、GPS の場合 50M である。SY-400 も垂直発射方式である。BP-12 と SY-400 の共用発射器は、ロケット・ミサイル聯合攻撃系統 (JARM) と呼称される。

現在カタール国が SY-400 を輸入したかどうかは不明である。中国の短距離弾道ミサイルは、中東湾岸諸国に集中的に売り込まれている。

以上